

公共交通便り

～地域公共交通網形成計画の策定に向けた取り組み～

第1号

《編集・発行》北広島市企画財政部企画課

*はじめに・・・

市民の重要な移動手段であるバスは、自家用車（マイカー）の普及や人口減少、人口構成の変化などにより、利用者が減少し、厳しい状況です。そのため市では、利便性が高く持続可能な公共交通網の形成に向けて、その指針となる『北広島市地域公共交通網形成計画』の策定を現在進めているところです。

そこで、市民の皆様にご公共交通の現状や計画の策定状況、今後の公共交通に関するトピックス等を発信するため、不定期で「公共交通便り」を発行することとしました。

第1号では地域公共交通網形成計画の策定に向けたこれまでの取り組みについて、お知らせします。

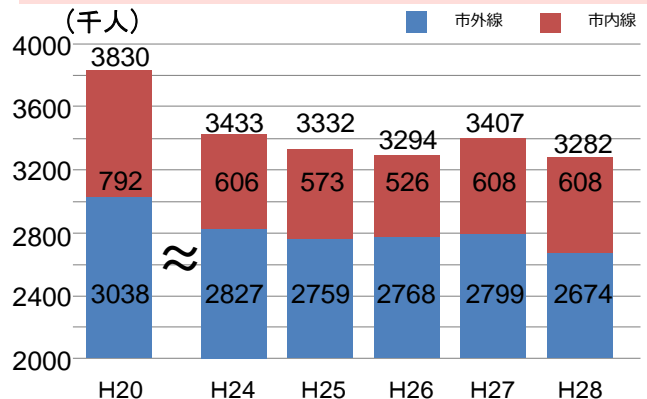
*北広島市の公共交通の状況

- ・北海道中央バス(株)、ジェイ・アール北海道バス(株)により、18路線776便/日が運行
- ・利用者数は平成20年の383万人をピークに減少傾向

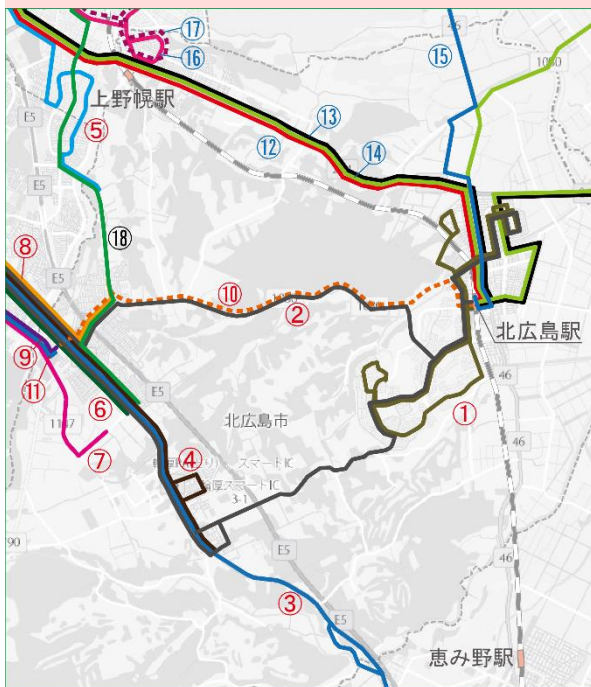
※市内線は平成27年以降、横ばいで推移

- ・バス路線は市内居住地の約7割をカバーしているが、西の里地区・大曲地区・西部地区の一部にはバス路線から離れた地域が存在

市内を運行する路線バスの利用者数の推移



北広島市内を運行する生活バス路線



運行主体	路線名	運行便数 (便/日)
北海道中央バス(株)	①北広島団地線	128
	②広島線	57
	③千歳線	42
	④柏葉台団地線	91
	⑤上野幌循環通線	27
	⑥大谷地・柏葉台線	60
	⑦美しが丘線	102
	⑧大曲光線	26
	⑨真栄団地線	81
	⑩北広島・三井アットレットパーク線	6
	⑪三井アットレットパーク線	6
ジェイ・アール北海道バス(株)	⑫北広島線	22
	⑬長沼線	42
	⑭南幌線	20
	⑮共栄線	14
	⑯虹ヶ丘線	4
	⑰虹ヶ丘線(循環)	13
共同運行	⑱新さっぽろ大曲線	35

* 公共交通に関する住民アンケート調査の実施

調査の目的 市民の交通行動や公共交通に対するニーズを把握する

調査概要 調査日：平成29年8月 回収数：2,197世帯（回収率：36.6%）
対象：北広島市に居住する6,000世帯（無作為抽出）

調査結果の概要

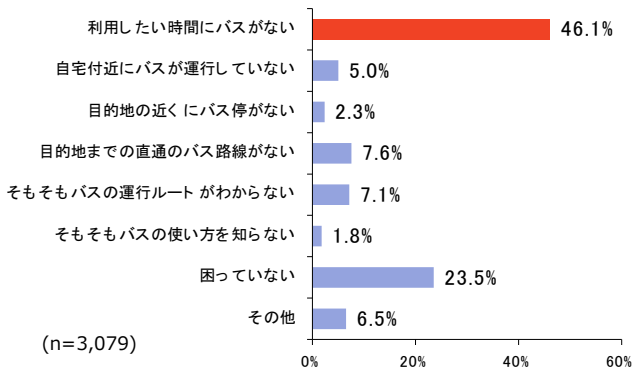
バスを利用する際に困っていることは？

- ・「利用したい時間にバスがない」が最も多くなっています

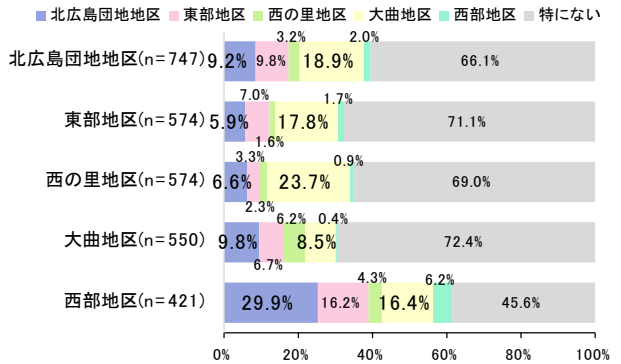
バスを利用して行きたい地区は？

- ・全地区で「大曲地区」や「北広島団地地区」へ行きたい方が多くなっています

バスを利用する際に困っていること



バスを利用して行きたい地区



現状

- ・北広島駅周辺は各地区から行くことが可能
- ・「西の里地区⇔大曲地区」は直通のバス路線がなく、バスによる移動が困難

各地区のバス路線で改善すべき事項は？

- ・全地区で「バスの運行本数」や「バスの運賃」を重点的に改善すべきとなっています
- ・「バスの終発時刻」や「他バス路線やJR・地下鉄等との乗り継ぎ」等にも改善要望があります
- ・特に高齢者の多く住んでいる北広島団地地区は、改善要望が最も多くなっています

	◎良好	○維持	△改善	×重点改善	北 団 地	東 部	西 の 里	大 曲	西 部
1.自宅からバス停までの距離	◎				◎	◎	◎	◎	◎
2.バスの運行本数				×	×	×	×	×	×
3.バスの始発時刻	◎				◎	◎	◎	◎	×
4.バスの終発時刻			△	×	△	×	×	×	×
5.バスの乗車時間	◎				◎	◎	◎	◎	◎
6.バス停の環境（ベンチ、屋根等）			△		△	△	◎	×	◎
7.バスの運行ルート				×	×	○	○	×	×
8.バスの行き先				×	×	◎	○	◎	×
9.バスの運行時間の正確さ（定時性）	◎				◎	○	◎	◎	○
10.バスへの乗り降りのしやすさ（段差）	◎				◎	◎	◎	◎	◎
11.バスとバスの乗り継ぎ			△		△	○	×	○	○
12.バスとJRや地下鉄等との乗り継ぎ				×	×	△	×	◎	×
13.バスの運行情報の分かりやすさ				×	×	×	△	△	○
14.バスの運賃				×	×	×	×	×	×

* 市内を運行するバス路線利用実態調査の実施

調査の目的

市内を運行する生活バス路線の現状及び課題を抽出する

調査概要

調査日：平成29年7月11日～13日（7月18日補足調査）

対象：市内を運行する全便（1便1回）

調査方法：①カウント調査（バス停別利用者数の調査）

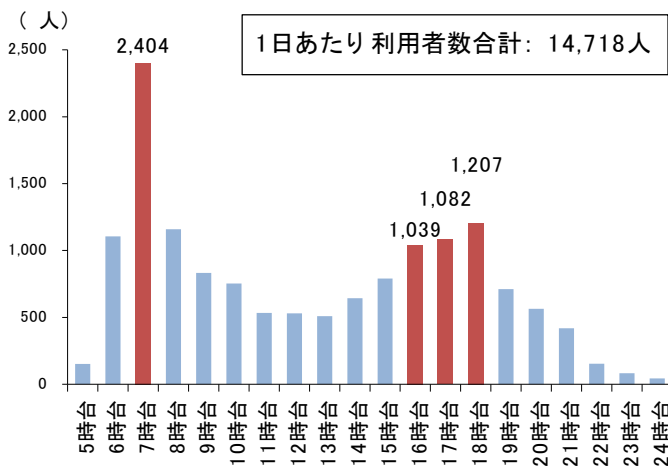
②アンケート調査（利用目的や乗継状況等の利用状況調査）

調査結果の概要

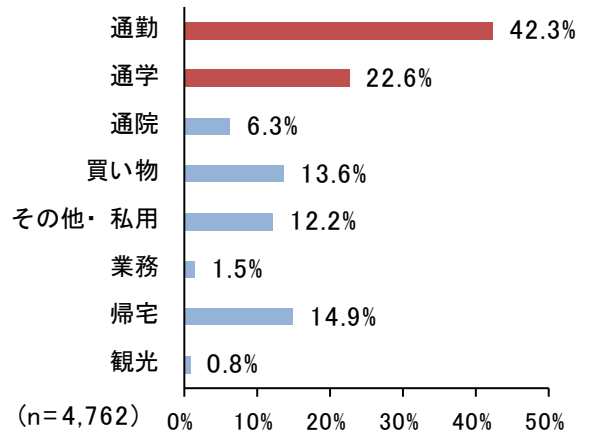
利用者の多い時間帯は？

- ・「7時台」が最も多く、「16時台」から「18時台」の利用も多くなっています
- ・利用目的は、「通勤」及び「通学」が多く、「買い物」や「その他・私用」でも利用されています

時間帯別路線バス利用者数（カウント調査）



路線バスの主な利用目的（アンケート調査）



* JR駅利用状況に関するアンケート調査の実施

調査の目的

「北広島駅」及び「上野幌駅」における利用実態を把握する

調査概要

調査日：平成29年7月12日 対象：「北広島駅」及び「上野幌駅」

調査方法：①カウント調査（6時頃から10時頃までの駅別利用者数の調査）

②アンケート調査（JR駅への交通手段や満足度等の動向調査）

調査結果の概要

JR駅までの移動手段は？

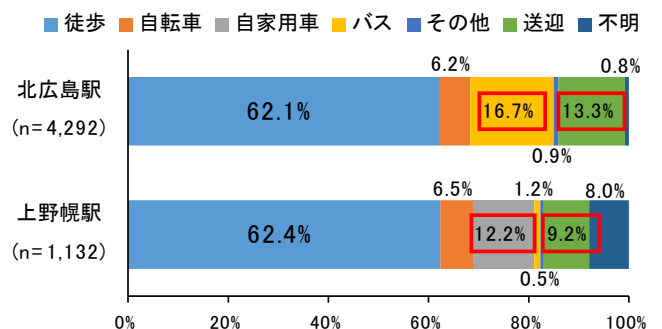
《北広島駅》

バス路線が比較的充実しており、「バス」の利用が多くなっていますが、「送迎」の割合も高くなっています

《上野幌駅》

「自家用車」や「送迎」の割合が高く、「バス」の利用は少なくなっています

路線バスの主な利用目的（アンケート調査）



* 北広島市地域公共交通網形成計画の基本理念及び基本方針（案）

北広島市における公共交通の現況や各種調査結果から、以下の基本理念及び基本方針を設定することとしています。

《基本理念》 地区の特性に応じた生活交通を確保し、 北広島市民が安心して暮らせる生活環境を支える 持続可能な公共交通網の構築

基本方針① 北広島団地地区内における生活交通を支援する 新たな運行形態の構築

《基本方針の考え方》

- ・ 各住区の特徴を考慮した運行の検討
- ・ 北広島団地線の需要に応じた効果的な運行への配慮
- ・ 買い物や通院などに利用される日中時間帯のバスサービス水準の検討
- ・ 商業施設・交流施設までの移動手段の検討
- ・ J Rとの接続を考慮した運行ダイヤの検討

基本方針② 市民ニーズに即した市内の地区間を結ぶ公共交通網の充実

《基本方針の考え方》

- ・ 西の里地区と大曲地区などの地区間移動が可能となる新たな路線の検討
- ・ 帰宅時間帯の利用者ニーズに合わせたバス運行ダイヤ・便数等の検討
- ・ 北広島駅発着の重複路線の再編・重複時間帯解消に向けたバスダイヤの検討
- ・ 地区間交通の公共交通サービス水準の検討

基本方針③ 交通空白・不便地域における新たな交通体系の導入

《基本方針の考え方》

- ・ 多様な交通手段を活用した市街地の交通空白・不便地域の改善検討
- ・ 郊外部の生活移動を支援する公共交通施策の検討

基本方針④ 公共交通を利用しやすい環境づくり

《基本方針の考え方》

- ・ 市民への公共交通の賢い使い方（モビリティ・マネジメント）を学ぶ機会の創出
- ・ バスの利用機会増加につながる利用促進策の検討
- ・ 快適なバス待合空間等の改善検討
- ・ バスの円滑な運行や乗降の利便性向上の検討

* 今後の予定

各種調査結果や基本理念・基本方針に基づき、市民を含めた公共交通の関係者が集まる協議会で審議し、地域公共交通網形成計画を策定します。